

平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム

コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長

(氏名) 佐藤 一郎

TEL 06-6882-0851

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	6,002	9.8	497	7.4	484	13.7	265	43.7
24年12月期第1四半期	5,464	8.8	462	67.0	426	77.0	184	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 299百万円 (51.2%) 24年12月期第1四半期 198百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	5,775.68	4,890.13
24年12月期第1四半期	4,039.45	4,027.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	15,050	3,561	23.5	76,964.18
24年12月期	14,227	3,445	24.0	74,490.24

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 3,533百万円 24年12月期 3,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	10.5	890	2.0	840	4.4	370	5.1	8,059.42
通期	25,700	12.5	2,050	13.5	1,950	15.8	930	31.0	20,257.46

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	45,909 株	24年12月期	45,909 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	― 株	24年12月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	45,909 株	24年12月期1Q	45,683 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、円安・株高の影響や新政権の経済政策への期待もあり、家計部門における消費マインド、企業部門における企業マインドともに改善が見られました。3月調査の日銀短観では、円安による輸出環境の改善、消費堅調などを背景に、大企業の業況判断DIが製造業、非製造業とも改善するなど、景気回復への明るい兆しが見られたものの、キプロス、イタリアにおける不安定な政治情勢、中国の景気動向など懸念材料も見られる中、景気動向は不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費者の節約志向・生活防衛意識の高止まりに加え、雇用・所得環境の先行き不安もあり、依然として厳しい状況が続いているものの、外食市場全体では3月には前年売上を上回るなど明るさも見える状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第1四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、および販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かっぱうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」をはじめとする全ブランドの業績改善に全社一丸となって取り組むと同時に、不採算店舗の戦略的撤退を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結会計年度の業績は、売上高60億2百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益4億97百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益4億84百万円（前年同期比13.7%増）と増収増益となりました。一方、減損損失等の特別損失26百万円を計上したため、四半期純利益は2億65百万円（前年同期比43.7%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業につきましては、国内および海外において、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かっぱうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」等全ての業態において既存店収益力強化と並行して、積極的に各種改革に取り組みました。

当社直営事業における新規出店の状況に関しましては、当第1四半期連結累計期間中に「まいどおおきに食堂」2店舗、「神楽食堂 串家物語」4店舗、「浪花麺乃庄 つるまる」1店舗、その他のブランドとして、健康を食べて頂くというコンセプトの「さち福や」等3店舗、計10店舗を出店いたしました。

以上の結果直営事業の売上高は56億26百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益は6億56百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例の共有を進めることにより店舗の収益力強化に努めております。中でも「まいどおおきに食堂」につきましては、直営店と同様に改装を漸次進めることにより更なる集客力向上を図っております。

今後も加盟企業様との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業の売上高は3億76百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は2億42百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

当社グループの平成25年3月末時点の店舗数は655店舗（直営店（国内）307店舗、直営店（海外）6店舗、F C店（国内）341店舗、F C店（海外）1店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店(国内)	直営店(海外)	F C店 (国内)	F C店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	125	4	306	—	435
神楽食堂 串家物語	53	—	13	—	66
手作り居酒屋 かっぱうぎ	32	—	18	—	50
浪花麺乃庄 つるまる	42	—	3	1	46
その他	55	2	1	—	58
合計	307	6	341	1	655

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は8億23百万円増加し、150億50百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から3億64百万円増加し、固定資産は4億63百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、借入の実行に伴う現金及び預金の増加2億77百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産の増加3億32百万円、敷金及び保証金の増加1億17百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して7億7百万円増加し、114億89百万円となりました。これは主に借入の実行による長期借入金の増加額9億4千万円によるものであります。

純資産につきましては、当期純利益の計上及び配当金の支払い等により、35億61百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期の業績予測につきましては、平成25年2月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,130,161	4,407,872
売掛金	303,319	285,523
たな卸資産	94,301	77,896
繰延税金資産	85,404	85,404
その他	921,346	1,037,193
貸倒引当金	△48,408	△43,320
流動資産合計	5,486,125	5,850,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,056,061	7,344,156
減価償却累計額	△3,114,718	△3,217,079
減損損失累計額	△256,681	△263,309
建物及び構築物（純額）	3,684,661	3,863,768
工具、器具及び備品	2,405,258	2,571,938
減価償却累計額	△1,836,828	△1,897,352
減損損失累計額	△17,801	△18,934
工具、器具及び備品（純額）	550,628	655,651
土地	111,221	111,221
建設仮勘定	104,660	165,868
その他	257,970	257,970
減価償却累計額	△118,192	△131,426
その他（純額）	139,777	126,543
有形固定資産合計	4,590,949	4,923,053
無形固定資産	44,218	42,834
投資その他の資産		
投資有価証券	211,279	230,516
繰延税金資産	308,043	299,209
敷金及び保証金	3,090,711	3,207,840
その他	500,682	511,297
貸倒引当金	△51,605	△57,348
投資その他の資産合計	4,059,111	4,191,515
固定資産合計	8,694,279	9,157,403
繰延資産	46,971	42,875
資産合計	14,227,376	15,050,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	968,223	962,012
1年内返済予定の長期借入金	1,232,909	1,339,357
未払金	851,484	1,063,871
未払法人税等	382,994	221,266
賞与引当金	57,676	35,883
資産除去債務	12,780	8,472
訴訟損失引当金	10,000	10,000
その他	1,384,498	1,425,046
流動負債合計	4,900,567	5,065,910
固定負債		
社債	2,949,999	2,609,999
長期借入金	1,729,342	2,633,435
リース債務	114,124	97,222
繰延税金負債	3,641	6,203
資産除去債務	588,739	609,201
その他	495,272	467,199
固定負債合計	5,881,120	6,423,261
負債合計	10,781,688	11,489,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,559	1,200,559
資本剰余金	1,080,305	1,080,305
利益剰余金	1,198,680	1,280,199
株主資本合計	3,479,544	3,561,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,548	△25,152
為替換算調整勘定	△19,224	△2,563
その他の包括利益累計額合計	△59,772	△27,716
新株予約権	8,626	10,087
少数株主持分	17,288	18,239
純資産合計	3,445,687	3,561,676
負債純資産合計	14,227,376	15,050,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	5,464,619	6,002,462
売上原価	1,817,861	2,014,406
売上総利益	3,646,757	3,988,056
販売費及び一般管理費	3,183,917	3,490,821
営業利益	462,840	497,234
営業外収益		
受取利息	1,324	1,268
受取家賃	28,314	30,191
持分法による投資利益	—	10,030
その他	3,949	3,756
営業外収益合計	33,588	45,247
営業外費用		
支払利息	18,768	13,288
社債利息	7,787	7,032
賃貸収入原価	28,346	30,079
持分法による投資損失	473	—
その他	14,972	7,437
営業外費用合計	70,346	57,838
経常利益	426,082	484,643
特別利益		
投資有価証券売却益	169	1,134
受取和解金	46,721	—
固定資産売却益	—	1,689
その他	—	115
特別利益合計	46,890	2,939
特別損失		
店舗解約損	54,117	12,497
固定資産除却損	38,404	7,139
減損損失	54,559	6,477
その他	200	500
特別損失合計	147,280	26,614
税金等調整前四半期純利益	325,692	460,969
法人税等	134,136	195,160
少数株主損益調整前四半期純利益	191,555	265,808
少数株主利益	7,020	652
四半期純利益	184,534	265,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191,555	265,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,385	15,395
為替換算調整勘定	8,230	19,146
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	△463
その他の包括利益合計	6,749	34,078
四半期包括利益	198,304	299,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,205	297,211
少数株主に係る四半期包括利益	8,098	2,675

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,068,897	395,722	5,464,619	—	5,464,619
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,068,897	395,722	5,464,619	—	5,464,619
セグメント利益	587,090	258,373	845,463	△382,622	462,840

(注) 1. セグメント利益の調整額△382,622千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては54,559千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,626,124	376,337	6,002,462	—	6,002,462
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,626,124	376,337	6,002,462	—	6,002,462
セグメント利益	656,887	242,245	899,133	△401,898	497,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,898千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては6,477千円であります。

(6) 重要な後発事象

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使

平成25年4月24日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の額面499,999千円全てが権利行使され、新たに普通株式2,685株を発行いたしました。

この結果、社債が499,999千円減少し、発行済株式数は2,685株、資本金は249,756千円、資本剰余金は249,753千円それぞれ増加いたしました。

これにより、平成25年4月24日現在、資本金は1,450,315千円、資本剰余金は1,330,058千円、発行済株式総数は48,594株となりました。